令和9年度第1回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

第1外国語試験　科目名（日本語B）

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問ごとに別の解答用紙を用いること（一枚目に問1と問2、二枚目に問3、三枚目に問4、四枚目に問5の解答を記しなさい）。

[redacted]

I　次の文章を読んで、問1から問5に日本語で答えなさい。（八〇点）

令和9年度第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

第1外国語試験 科目名（日本語B）

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問ごとに別の解答用紙を用いること
（一枚目に問1と問2、二枚目に問3、三枚目に問4、四枚目に問5の解答を記しなさい）。

[redacted]

（谷崎潤一郎、『陰翳礼讃』、中央公論新社、一九九五年より、表記を一部変更し、改行を施した）

[redacted]

問1 傍線部①～⑩の語句の読み方を書きなさい。

問2 （A）～（E）の箇所に入る言葉として、最も相応しいものを次の語群の中から選んで答えなさい（異なる英文字の箇所には同じ言葉をあてはめてはならない）。

ガンガン ケバケバ ザワザワ ちらちら ニヤニヤ ピカピカ ぷよぷよ メキメキ ゆらゆら

問3 傍線部（イ）で「偶然でないのを知る」と筆者が述べる理由に関して説明しなさい。

問4 傍線部（ロ）の「夜そのものに蒔絵をした」とはどういうことであるかを明快に述べなさい。

問5 傍線部（ハ）の「相違」として筆者が考えているものについて、詳しく述べなさい。